

# 史跡 松坂城跡の史跡整備①

## 1. 松坂城跡の概略

天正 12（1584）年、蒲生氏郷が南伊勢 12 万石をおさめる大名として、今の滋賀県から松ヶ島城に入ります。その後、氏郷は四五百森という小高い丘で新しい城づくりを始め、天正 16（1588）年に入ります。

新城の築城を機に地名を「松坂」と改めると共に、参宮道を海沿いから内陸部へ付け替えて町の整備が行われました。

精力的に松坂の整備を進めた氏郷ですが、入府からわずか 2 年後の天正 18（1590）年には会津黒川（現在の福島県会津若松）へ国替えとなりました。その後、服部一忠、古田重勝・重治が城主に就きます。江戸時代の記録では、古田氏の時代に松坂城が完成したとされています。

元和 5（1619）年、徳川家康の子頼宣が紀州藩主となった際、松坂は紀州藩勢州領となり松坂城代がおかれ、明治 4（1871）年の廃藩置県まで紀州藩の伊勢国領支配の拠点となりました。

## 2. 松坂城跡のみどころ

松坂城跡は平成 23 年に国の史跡に指定されています。これは、日本の歴史上で重要な城郭であり、高い歴史的価値を有することを意味します。その歴史的価値を高めている構成要素の一つが石垣です。

松坂城跡には、築城当時の石垣から近代の石垣まで様々な姿の石垣が残されています。その様子と傾向をまとめてみました。

○氏郷期

- ・築城当時の石垣で、天守台周辺の限られた場所にある。
- ・自然石を巧みに積み上げて築いている。平成 27 年度実施の発掘調査で同時期と考えられる石垣が新たに発見された。

○古田期

- ・本丸、きたい丸のほとんどがこの時期に造られている。
- ・石材に割石が混じりはじめる（矢穴痕）。角石は未完成ながら算木積風に組まれる。
- ・かなり広範囲でみられ、松坂城跡の主要な石垣の大半は古田氏が築いたと考えられる。

○紀州藩期

- ・二ノ丸、隠居丸などの史跡最外周部の石垣が主。
- ・石材の加工がかなり進む。紀州藩による石垣整備や修理は複数回行われており、二ノ丸御殿の存在が影響している可能性がある。

○その他

- ・明治時代のものと考えられる石垣があることや、公園利用のための新設石垣や平成の修理箇所がある。



天守台の石垣



発掘調査でみつかった石垣

## 3. 松坂城跡の整備をはじめていきます

平成 28 年 3 月に策定した史跡松坂城跡整備基本計画をもとに整備を進めていくのですが、石垣修理、園路整備、案内板の設置など内容は多岐にわたります。その中から今回は樹木の伐採について説明します。

史跡松坂城跡は、文化財であると同時に四季を通じて市民に親しまれている都市公園でもあり、多くの樹木が分布しています。これらの樹木は総じて巨木化が進んでおり、様々な支障となっているものもあります。そこで、平成 28 年度に、樹木調査を行い、現状の把握を行ったところ次の 6 種類の支障や危険性をもつ樹木が明らかになりました（図 1）。

ア) 樹根の生長や倒木等により石垣や土塁といった**地上遺構を損傷する恐れのある樹木**

イ) 今は消滅しているが、発掘調査結果や古絵図等によって確認できる建物跡等の**地下遺構を損傷する恐れのある樹木**

ウ) 斜面地に立地し、強風による樹木の揺れや倒木により**斜面地を崩落させる恐れのある樹木**

エ) 通路や通路沿いにあり、倒木や折れた枝の落下により**来訪者の安全上問題のある樹木**

オ) 倒木等により歴史的建造物等**既存の建造物を損傷する恐れのある樹木**

カ) 史跡内からみた眺望や史跡外からみた石垣等の、**良好な景観を妨げている樹木**

松坂市では、安全性の向上（減災）・史跡の保存と価値の向上を通じて多くの方々に松坂城跡をご利用いただけるよう目指しています。このような観点から、まず危険木・支障木の伐採を計画しました。ただし、公園樹木として市民に親しまれているサクラやモミジ、マツ等は、日常的なパトロールで石垣の損傷状況等を観察し、やむを得ないと判断されるまで極力伐採しないように考えています。



石垣天端の樹木



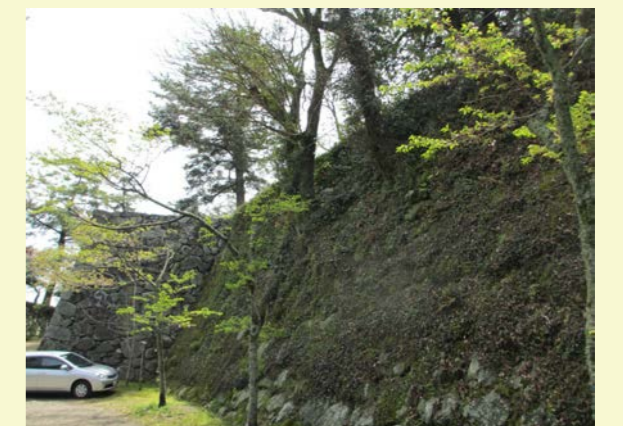
根で石を押し出している樹木



土塁上で巨大化する樹木



石垣をさえぎる樹木



石垣から生えた樹木

## 4. 優先的に伐採を予定している樹木

伐採は、左の図中①②周辺から開始する予定で、それぞれの伐採の目的は以下の通りです。

- ①: 石垣の安全性を高めるため
- ②: 松坂城跡内外からみた石垣等の良好な景観を確保するため

①に関しては樹木が巨大に育ち、風を受けると石垣を揺らすことから、早期の伐採が必要となります。伐採により根が腐朽しやすい樹木は、石垣内部の空洞化をまねくため、石垣の解体工事と並行して伐採する必要がありますが、①の樹木はクスノキ、イスノキ、ネズミモチ、スダジイ等が主であることから、ただちに根が腐ってしまうことはないと考えられます。

表門付近②の樹木はスダジイが主で、グラウンド側②はスギが主です。いずれも松坂城跡の魅力のひとつである石垣が引き立つような効果を期待しています。



現在の松坂城跡の姿

松阪市教育委員会事務局文化課 〒515-8515 松阪市殿町 1315 番地 3

TEL : 0598-53-4393 / E-mail : bun.div@city.matsusaka.mie.jp 平成 28 年 12 月